

事業所名:児童発達支援センターやいろ

公表:令和 年 月 日

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8			・活動の内容に応じて空間を分けたり、個別活動できるスペースを十分に確保している。	・内容に応じたスペースの設定を行い、継続して活動の充実を図っていく。
	②	職員の配置数は適切であるか	6	2		・配置されている人数で安全に配慮している。	・基本的には適切である。職員の休み等が重なった場合には不足する事もあるが、グループ内での応援体制を確保して対応している。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8			・パーティションの活用やパーソナルカラーを決める等しながら個人個人が理解しやすい環境に配慮している。	・身体的な障害を持った児童の受け入れは行っていない為、バリアフリー化は行っていないが、構造化した空間で活動できるよう支援していく。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8			・用途に応じた空間設定、環境設定が行っている。 ・毎日の定期的な消毒、清掃を実施している。	・毎日の清掃、消毒を継続する。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	8			・教室での課題や困難支援についてSVの活用や臨時のケース会議の開催を行っている。 ・職員一人一人が年間目標を立てて取り組んでいる。	・引き続きSV、ケース会議の開催を行う。 ・年間目標については振り返りの機会を設定し、立案したのみで終わらないよう配慮している。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	8			・保護者の意向を伺った際にはその日のうちに社内メールを活用し全体共有を行っている。	・今後も保護者の意見や提案等を反映していけるよう取り組んでいく。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	8			・法人HPにて公開している。(1回/年)	・法人HPで公開している事を知らない保護者もいる為、毎月発行しているお便りでお知らせしていく。
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			8	・第三者評価は現在実施していない。	
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8			・月に1回の施設内研修を継続して行っている。 ・外部研修の案内を事業所内で定期的に行い、必要と思われる研修を受講している。	・研修の内容について、職員の意見を反映してより実践的なものの検討を行う。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	8			・定期面談や連絡帳のやりとりの中でニーズをお伺いしている。	・成長過程に合わせた個別支援計画が作成できるよう取り組んでいく。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	6	2		・事業所のアセスメントシートの活用を行っている。	・他機関で実施されている標準化されたアセスメント内容を頂くようになっている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	1		家族の意向をお伺いするとともに本人支援として必要であろうことを具体的に記載している。	・継続して支援内容の具体的な設定を行う。

適切な支援の提供	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	8			・個別支援計画の内容振り返り(1回/月)を行い、計画に沿った支援が行えるよう設定している。	・個々の課題に沿った支援計画の作成、支援を継続していく。	
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	8			・検討会議、ケース会等で利用児に合った活動内容を検討している。	・今後も定期的な会を開き、チームで検討を行っていく。	
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7	1		・教室単位での話し合いの時間を設けてプログラムが固定化しないよう工夫している。	・必要に応じて新たなプログラムの立案を検討する。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	7	1		・教室内での個別活動、教室外での小集団による活動を組み合わせている。	・昨年度は行っていなかったプログラムの立案、実施も行っている。必要に応じて個別活動、集団活動について検討する。	
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	4		毎日定期的には実施はしていないが、必要に応じて教室単位、施設単位で打ち合わせ、振り返りを実施している。	・今後も継続する。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	4				
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8			・日々の支援については記録をとり、職員全体が確認できる仕組みとしている。	・継続して記録をとることを徹底し、支援の検証、改善へとつなげる。	
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	8			・定期的にモニタリングを行い、適宜見直しの必要性について判断している。	・継続して定期的なモニタリングを実施していく。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8			・主に児童発達支援管理責任者が参加し、必要に応じて担当職員の参加も行っている。	・現状を継続する。	
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	7	1		・必要に応じて関係機関との連絡をとり、連携を行っている。	・今後も継続した支援を行っていく。	
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/			・医療的ケアが必要な子どもの利用はない。		
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか						
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	8			・必要に応じて関係者で支援会議を開き、情報共有を行っている。	・継続して支援会議、情報共有を行っていく。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	7	1		・就学時には小学校、特別支援学校の関係者と集まり、情報共有を行っている。	・継続して移行先との情報共有を行っていく。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	4		・児童発達支援センターとして他の児童発達支援事業所職員を対象に研修等実施している。	・継続して実施する。	
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			8	・現在、交流の機会は確保できていない。	・併用利用児童がほとんどであり、併用先の幼稚園、保育所にて活動機会が確保できているものである。	

関係機関や保護者との連携	②⑨	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3	5		・代表者が発達障害支援地域協議会の委員を務め、参加している。	・内容について内部周知が十分ではないため職員全体が理解できるよう取り組みを進める。
	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8			・連絡帳、送迎を活用し、保護者との情報共有に努めている。	・今後も継続した支援を行っていく。
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	4		4	・個別とはなっているが家庭でできる事への提案や支援を適宜実施している。	・ペアトレ等、現状実施できていなくてもどういった場で開催されているかなど、保護者に対して発信をしていく。
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8			・契約時に説明を行っている。	・今後も継続した支援を行っていく。
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	7	1			
	③⑭	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8			・定期的な面談の機会を確保している。相談があった際には助言をし、スタッフ間で共有し、支援をしている。	・今後も継続した支援を行っていく。
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	4		・保護者同士の交流会を計画し、実施している。	・保護者からも交流の場を設けてほしいという声を一定数頂いている。交流の場を継続していけるよう計画する。
	③⑯	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	8			・法人が定めている苦情解決体制に沿って対応している。	・今後も継続した支援を行っていく。
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8			・月1回、やいり便りを配布し、療育内容や活動内容を伝えている。	・取り組み内容をより家庭に理解しやすい形を心掛け具体的なエピソードや写真等を活用して発信している。今後も継続する。
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	2		・複数チェックを行い管理を行っているが、まれに配布物の入れ間違いが起こる事がある。	・入れ間違いが起こった際にはなぜ間違いが起こったのか検証し、対策を再立案して対応している。
	③⑲	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8			・療育の状況について写真や動画を用いて伝えている。必要に応じて支援ツールの保護者への配布を行っている。	・今後もより分かりやすい情報伝達の方法や取り組み方を検討していく。
④⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			8	・地域住民を招待する対象の行事を実施していない。	・必要性について今後、検討予定。	

非常時等の対応	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	4		・マニュアルの整備を行っている。保護者への周知として玄関にマニュアルの掲示を行っている。	・マニュアルについて整備している事をご存じでない保護者も一定数いる為、お便り等でお知らせしていく。
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	8			・月1回の避難訓練(火災、地震、送迎時想定)を行っている。	・今後も継続して実施していく。
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8			アセスメントの際に把握し、一覧表の作成を行い、掲示している。	・対応方法や状況等変更がある際には適宜修正を行う。
	④④	食物アレルギーのある子どもについて、指示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	8			・除去食にて対応している。また、個別対応が必要な際には時間差や空間を分ける等、対応を行っている。	・継続して支援を行っていく。
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8			・事例が挙がった際にはリスクマネジメント会議を適宜開催し、職員間での情報共有に努めている。	・継続して状況に応じたリスクマネジメント会議の設定を行う。
	④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8			・定期的に虐待防止会議を行っている。	・継続して会議の設定を行う。
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	/				・身体拘束を必要とする事例無。

◎ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。